

学校運営計画(4月)		評価(3月)	
<p>学校運営方針</p> <p>校訓「自助・自敬・信愛」のもと、生徒個々の個性・能力を伸ばし、豊かな感性と創造力を養うとともに、社会の一員として公共の精神に基づく強い自覚と実践力を身に付けた人間性豊かな生徒の育成を目指す。加えて、家庭及び地域社会との連携指導体制の構築を図り、生徒・保護者及び地域社会に信頼される学校づくりを推進する。</p>		評価(3月)	
<p>昨年度の成果と課題</p> <p>年度重点目標</p> <p>具体的目標</p>			
<p>教務部</p> <p>教務課</p> <p>入試広報課</p> <p>庶務課</p>	<p>生徒の学習意欲を高め、基礎学力を向上させるとともに学ぶ意欲の向上と基礎学力の充実を目指す。</p> <p>探究授業、授業評価による授業改善に努め、「分かる授業」の実施と魅力ある学校設定科目の導入により、生徒の学習意欲を高め、出席率、単位修得率の向上を図るとともに基礎学力の充実、中途退学者の減少に努める。</p>	A	
	<p>規範意識の高揚と自主・自律的態度の育成に努める。</p> <p>生徒の規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立、更に、自主・自律的態度の育成を図るとともに、担任、修学課、スクールカウンセラー、訪問相談員等との連携を強化し、生徒の修学支援体制の充実に努め、問題行動や不登校及び中途退学の抑制・防止に努める。</p>	B	
	<p>キャリア教育の推進と系統的・組織的指導体制の構築を図る。</p> <p>各年次で早期の進路目標設定を促し、適切な受講ガイダンス及び受講登録を実現する。</p>	A	
	<p>特進クラスの特色化と進路関係事業の充実を図り、生徒の希望進路実現を目指す。</p> <p>特別進学クラスの指導内容の改善や高大等連携事業、インターンシップ、進路ガイダンス等の指導内容を充実させ、生徒の希望進路実現に取り組み。</p>	A	
	<p>学校情報の公開と家庭及び地域・社会との連携強化を図る。</p> <p>特色ある教育活動、学校行事等の学校情報を中学校及び地域・社会へ積極的に発信・公開することで、本校教育への理解と地域・社会及び関係機関との連携を密にした協力支援体制の構築を図る。</p>	A	
<p>国際交流事業やE S D事業をとおして国際理解教育を推進し、地球市民的意識の高揚を図る。</p> <p>海外研修や短期ホームステイ等の国際交流事業を実施し、異文化理解やコミュニケーション能力の育成を図る。</p>	A		
<p>人権教育を推進し、人権が尊重され、いじめや差別のない学校づくりに取り組む。</p> <p>人権教育週間や人権講座をとおして、生徒の人権感覚や自尊感情の向上を図り、人間尊重の精神が醸成される環境づくりを推進する。</p>	A		
<p>評価項目</p> <p>具体的目標</p> <p>具体的方策</p>	<p>評価(3月)</p> <p>次年度の主な課題</p>		
<p>教務部</p> <p>教務課</p> <p>入試広報課</p> <p>庶務課</p>	<p>生徒に勉学の本質や目的を理解させ、「魅力ある授業」を実現することによって、学ぶ喜びやわかる楽しさを体験させ、出席率・単位修得率を向上させる。また、各課との業務連携を強化し、ともにガイダンス部、生徒指導部との連携を深め、学習の諸環境を整えることで、学力の向上、希望進路実現、豊かな人間性の涵養に務める。</p> <p>新学習指導要領に対応した時間割マスタを作成し、学習指導研修会を年2回実施する。</p> <p>道徳心や学校への帰属意識を向上させることのできるHRの活動内容を構築する。</p> <p>教科担任、学級担任との緊密な連携により、単位修得率(80%以上)の向上と不登校、中途退学の減少(前年度比10%減)を目指す。</p> <p>体験入学(年2回)、中学校進路相談事業(4学区)を実施し、ホームページや学校案内ポスターを更新し、入試相談を充実させることで入学志願者の年比20%増を目指す。</p> <p>学校要覧、学校案内等の内容の充実と早期作成(10月完成)により効果的広報活動を推進する。</p> <p>教職員の情報機器活用能力を向上させるとともに個人情報保護の流失・漏洩防止対策を徹底するための研修(2回)を実施する。</p> <p>年間行事の日程等を適切に調整・管理し、毎月1回予定を早期(1ヶ月前)に完成させるとともに、諸会議の事務管理を確実に行う。</p> <p>教育支援システムの保守管理と教務用パソコンの適正活用を促し、教育の情報化を推進し、事務の効率化・迅速化を図る。</p>	A	
	<p>生徒指導部</p> <p>生徒指導課</p> <p>修学課</p> <p>保健課</p>	<p>心豊かに楽しく生きる力を育み、自主性と自己責任力の伸長を図るとともに、生徒会活動の活性化と学校行事の充実に努め、魅力ある学校づくりを推進する。さらに、働きを培う多様な奉仕・体験活動を奨励し、地域に根ざした学校づくりに取り組む。</p> <p>「マナーアップひびき」として全職員を割り当て、校内4回及び校外1回の巡回指導を実施し、規範意識の高揚と問題行動の抑制・防止(前年度比20%減)に務める。</p> <p>「いじめ」に関する職員研修(年2回実施)、「保護者チェックシート」による調査(年2回実施)により、早期発見、早期対応に努め、「いじめ」の防止・撲滅に取り組む。</p> <p>修学課会議を週1回開催し、生徒状況を把握するとともに、全職員が情報を共有するための生徒情報交換会を月1回開催する。</p> <p>担任、S・C、訪問相談員等との連携を強化し、生徒の修学支援体制の充実を図り、不登校や中途退学の抑制・防止(前年度比10%減)を目指す。</p> <p>生徒の健康管理のために、諸検診の円滑な運営を心がけ、受検率100%を目指す。</p> <p>養護教諭、S・C、学校健康区及び関係機関との連携により、健康相談(年3回)を実施し、教育相談の充実を目指す。</p> <p>生徒の健康意識の高揚と校内実業の促進のために、毎月1回「クワックひびき」を実施する。</p>	A
	<p>ガイダンス部</p> <p>ガイダンス課</p> <p>進路指導課</p> <p>進路渉外課</p>	<p>キャリア教育を推進し、生徒の能力や適性を生かした進路希望の実現をサポートするとともに、各課の連携強化や生徒の進路情報を教職員間で共有し、進路決定率(前年度比10%増)の向上を目指す。</p> <p>学習が本質の充実とガイダンス技術の向上を図り、生徒に応じた的確な受講ガイダンスの実現を図る。</p> <p>受講ガイダンスの早期作成(11月作成)と効果的活用により、受講ガイダンスの効果的運用に努める。</p> <p>外部模試・実力診断テスト等の迅速な結果分析・検討による進路状況研修会を定期的に実施(2回)し、指導の充実・改善に努める。</p> <p>長期休業中の特別講座の実施を周知させ、受講者数(前年度比10%増)の増加と、出席率の向上(100%アップ)を目指し、学力の向上を図る。</p> <p>キャリア意識を高め、高大等連携事業・インターンシップ・資格取得指導を充実させ、進路実現を図る。</p> <p>高大等連携事業への参加意識・意欲の更なる向上及び資格取得指導の充実により、進路決定率10%向上を実現する。</p> <p>企業体験、インターンシップ、就職・公務員模試等への参加率・受験率(前年度比10%増)の向上及び、面接指導等の就職指導を充実させ、内定率の向上を目指す。</p>	B
	<p>研究部</p>	<p>公開授業(研究授業年8回実施、授業相互参観年2回実施)</p> <p>各分掌との緊密な連携により、職員研修(年12回)を実施し、指導力の向上を図る。</p> <p>生活体験発表会、芸術鑑賞の実施内容の充実と効果的運営により、生徒の学校への帰属意識の高揚と学習活動への意欲向上を図る。</p> <p>研究授業(年8回実施)、授業相互参観(年2回実施)の内容・方法を検討し、教科指導力向上と授業の充実を図り、学習活動の活性化をはかる。</p> <p>図書館の円滑な運営と利用率向上を図るために、広報紙「ライブラリー」を定期的に(月1回)発行する。</p> <p>あらゆる場面で生徒に声をかけ、礼正正した態度を育成するとともに、保護者面談や年次通信(年8回)を通じて家庭との連携を密にした生徒の指導を行う。</p> <p>修学課、訪問相談員、スクールカウンセラー等と緊密な連携をとり、生徒の出席率の向上(80%)を図ることで修学を促す。</p> <p>新しい時代に即した指導方法を取り入れ、授業の改善(生徒の授業評価ポイント3、5以上)に努め、授業の充実を図る。</p> <p>定期考査や模擬試験などで生徒の学力を把握し、面談(年2回)を通して適切な助言をする。</p> <p>進路適性検査、近未来ガイダンス、進路希望別進路研究等を通して、自己の興味関心、適性を認識させ、進路目標設定100%を目指す。</p> <p>模擬試験や検定試験に関する情報を積極的に提供し、積極的な参加(前年度比10%増)を目指す。</p> <p>授業出席率の向上(80%)と単位取得率の向上(取得率75%)を目指し、欠席生徒へ早めの指導をする。</p> <p>長期休業中の特別講座受講を奨励(前年度比10%増)し、継続的な学習態度の育成を図る。</p> <p>修学課、訪問相談員、S・C等との緊密な連携により、多くの職員による修学支援体制を強化し、不登校生徒への早めの対応を実行する。</p> <p>年次通信を定期的(年6回)に発行し、家庭との連携強化を図る。</p> <p>HRや総合的な学習の時間に、生徒が自分自身や周囲との関係を省みたり、自分の将来について考えたりする機会を提供し、進路目標を明確にする。</p> <p>個人面談週間を実施(2回)し、生徒理解と効果的活用を図る。</p> <p>毎週1回ミーティングを行い、迅速かつ率直な情報交換を実現する。</p> <p>毎日必ず交代で下校指導を行うとともに、給食指導を通じて生徒の変化をとらえ、生徒指導に活かせる。</p> <p>欠席が3日以上続いた生徒に対する家庭訪問を実施し、出席率の向上(80%以上)を図る。</p> <p>各学期に2回、漢字の年次マッチを行い、基礎学力の定着をはかる。</p> <p>HR・総合学習・個人面談を通して、生徒がそれぞれの夢を描ける情報提供を教員全体で行い、進路目標の設定100%を目指す。</p> <p>年次通信を年8回発行し、希望進路の実現に向けて家庭との連携強化を図る。</p> <p>年次会議(年間14回実施)を通じて教職員の共通理解のもと、目標内容を明確にもって進路ガイダンス等に対応する。</p> <p>HRや総合的な学習の時間や個人面談等を通して、生徒の進路に応じたきめ細やかなサポートを実施し、進路決定率100%を目指す。</p> <p>卒業に向けきめ細かな学習指導を心掛け、単位修得率の向上(修得率80%以上)を目指す。</p> <p>長期休業中の特別講座の受講を奨励し、受講者数の出席率の向上(90%以上)を目指し、学力の向上を図る。</p> <p>4月の個人面談、5・6月の管理職面談、7月の保護者面談等や、年次通信を年4回発行することで進路情報を提供し、将来の進路意識を向上させる。</p> <p>HR・総合的な学習の時間や年次集会等を通して、社会人としてのルーツやマナーへの意識を向上させ問題行動ゼロを目指す。</p>	A
	<p>新入生年次</p>	<p>基本的な生活習慣を確立させるとともに、規範意識を高揚させる。</p> <p>学ぶことの楽しさに気をつけ、自分に適した学習方法を身につけさせる。</p> <p>将来の進路について考えさせ、希望の進路を実現するために、高等学校や大学へ行くことを認識させる。</p>	B
<p>在校生年次Ⅰ・Ⅱ部</p>	<p>授業を大切に、継続的に学習する態度を維持させる。</p> <p>教職員・専門機関・保護者等との連携をさらに強化する。</p> <p>生徒一人一人の興味・関心・能力・適性をよく把握し、進路目標をより明確化する。</p> <p>職員間の連絡を密にし、協力体制を充実させ、生徒自らが考え、行動する態度を育成する。</p>	B	
<p>在校生年次Ⅲ部</p>	<p>家庭との連携をしながら、確実に単位を修得させる。</p> <p>生徒が将来の夢を描き、その実現に近づく努力ができる支援をする。</p>	B	
<p>卒業生年次</p>	<p>職員間の連絡を密にし協力体制を充実させ、進路指導体制を向上させる。</p> <p>HRや総合的な学習の時間や個人面談等を通して、生徒の進路に応じたきめ細やかなサポートを実施し、進路決定率100%を目指す。</p> <p>卒業に向けきめ細かな学習指導を心掛け、単位修得率の向上(修得率80%以上)を目指す。</p> <p>長期休業中の特別講座の受講を奨励し、受講者数の出席率の向上(90%以上)を目指し、学力の向上を図る。</p> <p>4月の個人面談、5・6月の管理職面談、7月の保護者面談等や、年次通信を年4回発行することで進路情報を提供し、将来の進路意識を向上させる。</p> <p>HR・総合的な学習の時間や年次集会等を通して、社会人としてのルーツやマナーへの意識を向上させ問題行動ゼロを目指す。</p>	A	